

青年委員会だより

令和2年12月1日（第237号）

青森県建築士会青森支部青年委員会

先月号編集時に、県内の感染者数が200人に迫る勢いで増えていると記載しましたが、青年委員会だよりが皆様のお手元に届く頃には200人を超え、編集時現在で300人に迫る勢いとなってしまいました。今後の活動ですが、状況を見ながら再開に向けた判断して行きたいと思います。

建築体験伝道活動



授業の様子



建築体験伝道活動

11月5日、弘前工業高校で建築体験伝道活動の授業を行いました。今年も建設業協会さんからの依頼による授業なのですが、今回は11月8日に行われる二級建築施工管理技士試験の直前対策講義となりました。出席者は、講師を務める平塚委員長と助手として編集長松野の2名でした。新型コロナウイルスの影響なのか、いつも渋滞になるはずの道路が思いのほかスムーズに流れ、久々にゆっくりと準備に取り掛かることが出来ました。授業は、午前中の3コマと長時間となりましたが、1コマ目は、建築士になるための流れを表にした建築士すぐろくについて、2コマ目は試験勉強を効率的に進めるためのテクニックについて、そして3コマ目は日建学院さんの協力により生徒達が事前に受験した模擬試験で正答率が低かった部分の解説についてでした。平塚委員長の講義の中で個人的に思うところがあった部分としては、2コマ目の授業で、自分も一級建築士の受験時には当たり前のように行っていたことなのですが、今となっては頭の片隅にすら無くなっていることに気付き、初心にかえることが出来ました。勉強のし過ぎなのか、やや舟をこぐ生徒さんも見受けられましたが、3コマ目は問題解説と言うこともあり、しっかりと話を聞いているように思えました。個人的で恐縮なのですが、高校時代の恩師との再会や職員として働いている若き後輩たちに会うことができ、自分も頑張ろうと思いました。平塚委員長、講義お疲れ様でした。

数か月の活動自粛からの活動再開、しかし、すぐに活動自粛に戻りそうな状況です…。結局、今月の活動は弘前工業高校での授業のみとなってしまいました。そんな中だからこそ、新型コロナウイルスの状況を見ながらの判断となりますが、忘年会を開催出来ればと考えております。今月号の青年委員会編集時点での状況では、弘前のクラスターが飛び火したのか別ルートなのかは不明ですが、南部方面の方が増加傾向のようです。市内の感染者は、ほぼ確認されなくなって来ている状況ですし、このまま収まる方向に向かい無事に忘年会が開催出来ることを願うばかりです。会場は未定ですが、12月5日土曜日に開催する予定です。忘年会が開催可能となった場合は、参加希望者へ個別にご連絡しますので、まずは事務局までご連絡下さい。よろしくお願い致します。

青年委員会忘年会 12月5日（土）第1土曜日 19:00～

FAX017-723-7105 mail info@aaba.gr.jp のいずれかでご連絡ください。

会場未定（出席 ・ 欠席）

どちらかに○をつけて返信ください

氏名

TEL